

平成28年度 焼却施設の維持管理に関する記録

クリーンセンターまにわ

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物、不燃ごみ破碎処理残渣)													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量	t	209.5	306.8	114.8	239.6	235.2	166.9	155.3	256.2	102.5	91.9	179.7	182.9	2,241.2
2号炉	焼却量	t	191.8	71.8	281.3	135.9	198.0	193.3	211.8	96.6	274.4	250.2	105.1	180.0	2,190.2
合計焼却量		t	401.3	378.7	396.1	375.5	433.1	360.2	367.1	352.8	376.9	342.1	284.7	362.9	4,431.4

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉	°C	800°C以上	913	917	913	921	903	898	908	902	917	924	902	899	909.8
	2号炉	°C	800°C以上	923	918	915	919	906	909	911	907	911	942	960	893	917.8
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉	°C	200°C以下	169	169	169	169	169	170	169	169	169	169	169	169	169.1
	2号炉	°C	200°C以下	169	169	169	168	169	169	169	169	169	169	169	168	168.8
排ガス中一酸化炭素濃度*3	1号炉	ppm	30ppm以下	2	3	2	2	2	2	3	2	2	1	2	3	2.2
	2号炉	ppm	30ppm以下	2	2	2	1	2	2	1	1	1	0	0	2	1.3
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値														

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パー・ツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成29年1月20日	平成29年2月14日
排ガス処理設備(集塵機)	平成28年12月7日	平成28年11月4日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度(1回/年以上測定)

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成28年7月28日	平成28年7月29日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成28年9月9日	平成28年9月9日
ダイオキシン類濃度	5	0.1	ng-TEQ/m ³ N	0.00000039	0.00000012

採取位置：集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号m³N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態に換算した気体の体積

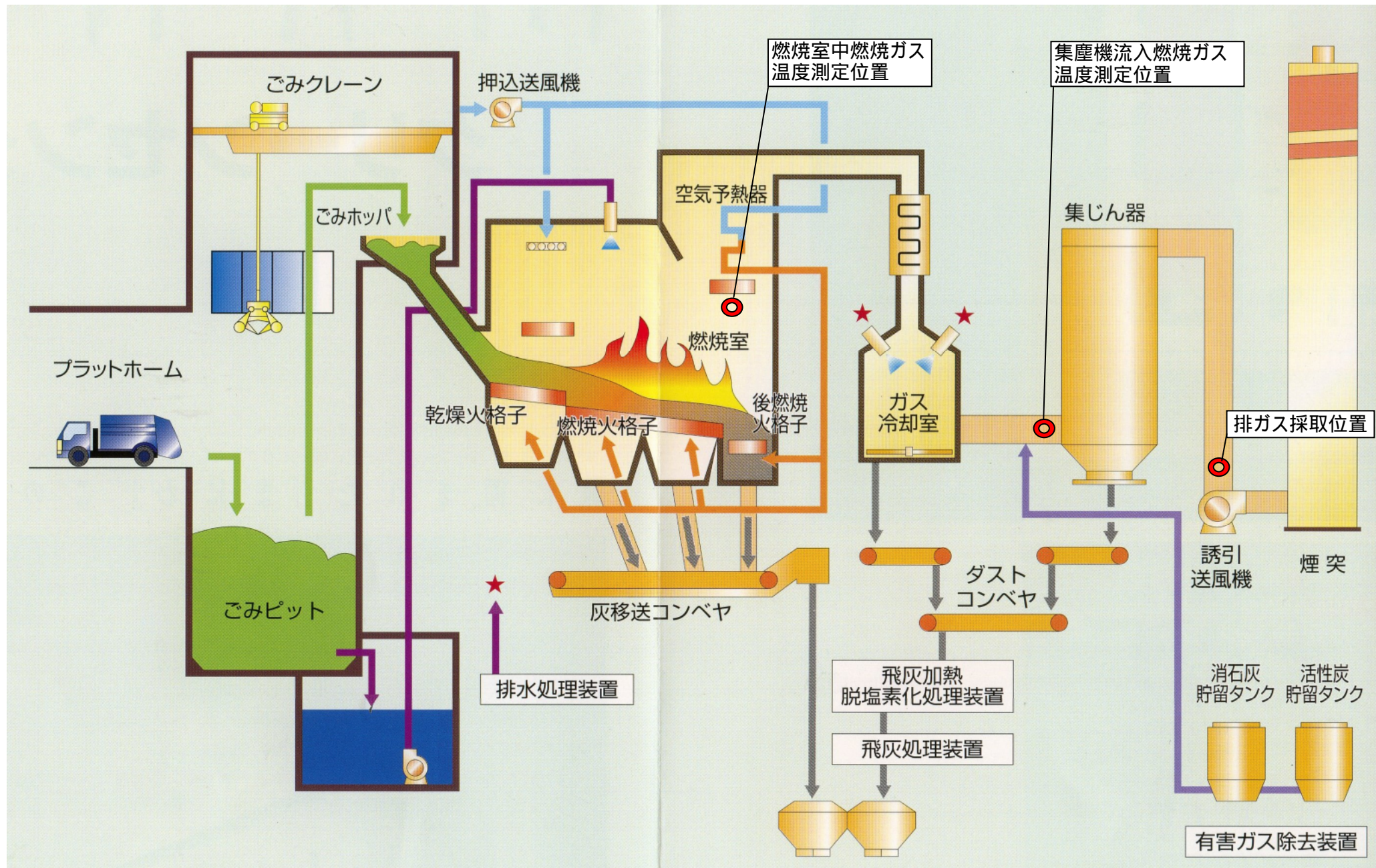
5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成28年7月7日	平成29年1月12日	平成28年7月7日	平成29年1月12日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成28年7月11日	平成29年1月16日	平成28年7月11日	平成29年1月16日
ばい煙濃度	0.15	0.01	g/m ³ N	0.001	0.001	0.001	0.001
硫黄酸化物の量	K値17.5	50※	ppm	1未満	1未満	1未満	1未満
窒素酸化物濃度	—	150	ppm	87	64	82	67
塩化水素濃度	700	100	mg/m ³ N	2	1	2.8	5.7

採取位置：集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫黄酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所



平成28年度 焼却施設の維持管理に関する記録

真庭北部クリーンセンター

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物)													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量 t	118.4	132.5	92.3	105.3	136.5	153.2	77.7	132.6	87.8	99.1	0.0	110.5	1,245.9	
2号炉	焼却量 t	83.3	98.2	100.2	101.7	140.1	64.9	104.2	97.5	107.3	73.6	148.7	97.3	1,217.0	
合計焼却量 t		201.7	230.7	192.5	207.0	276.6	218.1	181.9	230.1	195.1	172.7	148.7	207.8	2,462.9	

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉 °C	800°C以上	905	916	905	909	903	913	918	880	892	885		900	902.4
	2号炉 °C		909	916	910	923	916	910	900	890	903	902	917	900	908.0
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉 °C	200°C以下	180	181	181	180	181	180	180	180	180	180	180	180	180.3
	2号炉 °C		182	184	181	180	180	181	181	180	181	182	181	181	181.2
排ガス中一酸化炭素濃度*3	1号炉 ppm	30ppm以下	3	3	3	1	1	1	4	5	3	4		5	3.0
	2号炉 ppm		2	2	2	2	1	1	2	3	2	3	3	3	2.2
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値													

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成28年6月14日	平成28年6月14日
排ガス処理設備(集塵機)	平成28年6月15日	平成28年6月15日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度(1回/年以上測定)

区分	法定基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	平成28年11月15日	平成28年11月15日
結果の得られた年月日	/	/	平成28年12月14日	平成28年12月14日
ダイオキシン類濃度	10	ng-TEQ/m ³ N	0.00016	0.033

採取位置：集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

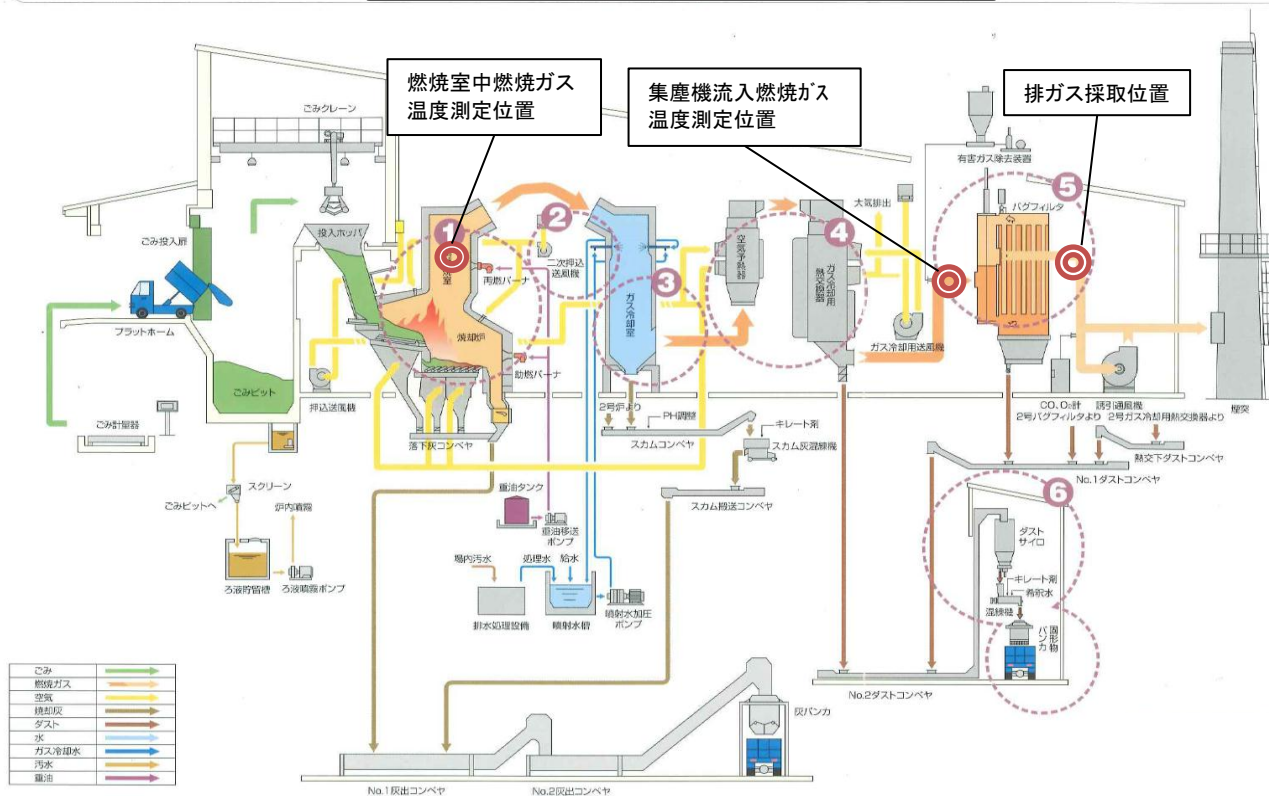
TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号m³N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態に換算した気体の体積

5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区分	法定基準値	単位	1号炉		2号炉	
			1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	平成28年5月24日	平成28年11月15日	平成28年5月24日	平成28年11月15日
結果の得られた年月日	/	/	平成28年6月6日	平成28年12月14日	平成28年6月6日	平成28年12月14日
ばい煙濃度	0.25	g/m ³ N	0.003	< 0.001	0.003	0.001
硫黄酸化物の量	K値17.5	m ³ N/h	0.15	0.051	0.087	0.043
窒素酸化物濃度	250	ppm	110	100	110	120
塩化水素濃度	700	mg/m ³ N	330	6.9	150	110

採取位置：集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場



平成28年度 焼却施設の維持管理に関する記録

コスモスクリーンセンター

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ（家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物、不燃ごみ破碎処理残渣）													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量	t	167.6	175.3	166.3	218.3	205.1	168.9	153.4	194.4	217.2	160.2	166.2	172.0	2,164.9
2号炉	焼却量	t	207.1	203.1	202.1	153.9	248.4	221.4	222.3	155.8	233.0	186.2	150.3	225.4	2,409.0
合計焼却量		t	374.7	378.4	368.4	372.2	453.5	390.3	375.7	350.2	450.2	346.4	316.5	397.4	4,573.9

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉	°C	800°C	939	939	949	943	936	924	937	935	941	921	938	944	937.2
	2号炉	°C	以上	941	944	928	927	927	912	916	910	912	894	930	939	923.3
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉	°C	200°C	179	180	185	189	189	189	189	189	190	189	189	190	187.3
	2号炉	°C	以下	180	180	184	189	190	189	190	189	190	189	189	190	187.4
2	1号炉	ppm	100ppm以下	20.1	18.3	15.4	21.6	17.8	15.5	17.7	24.2	27.4	32.1	25.1	22.0	21.4
	2号炉	ppm	m以下	16.2	16.6	13.3	22.9	14.7	13.8	17.4	24.8	25.2	31.4	24.7	22.2	20.3
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値														

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」

【用語解説】

ppm（パーツ・パー・ミリオン）は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備（ガス冷却室）	平成28年6月20日	平成28年6月20日
排ガス処理設備（集塵機）	平成28年6月20日	平成28年6月20日

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成28年7月7日	平成28年9月8日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成28年8月9日	平成28年10月18日
ダイオキシン類濃度	10	5	ng-TEQ/m ³ N	0.079	0.049

採取位置：集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng（ナノグラム）…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号

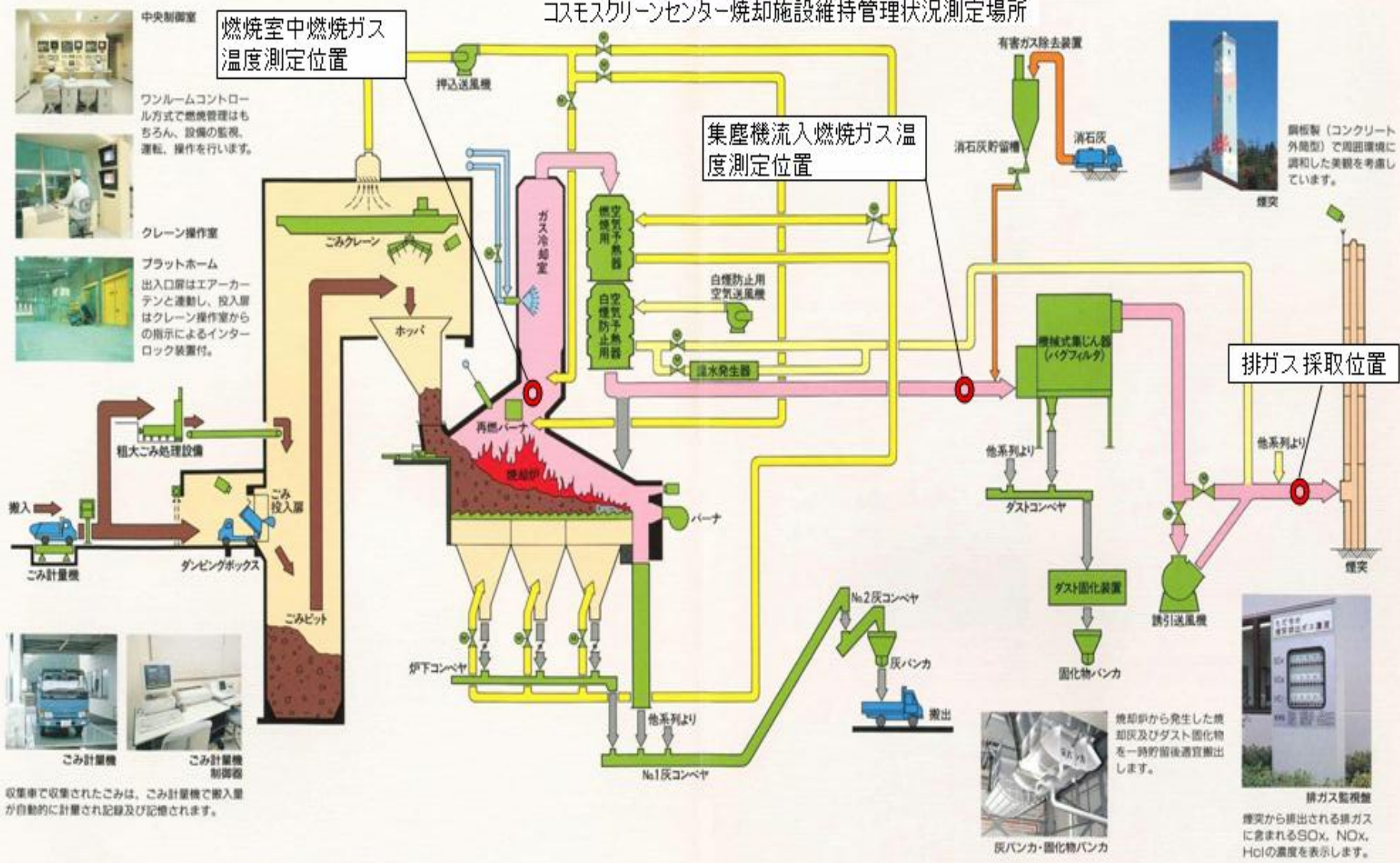
5 ばい煙量又はばい煙濃度（1回/6ヶ月以上測定）

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成28年5月23日	平成28年11月11日	平成28年8月2日	平成29年2月2日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成28年5月30日	平成28年11月24日	平成28年8月9日	平成29年2月13日
ばい煙濃度	0.15	0.02	g/m ³ N	0.003	0.001	0.003	0.003
硫黄酸化物の量	K値17.5	50※	ppm	19	19	19	19
窒素酸化物濃度	250	200	ppm	80	48	47	29
塩化水素濃度	700	100	mg/m ³ N	77	77	77	77

採取位置：集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫黄酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所



中央制御室
 燃焼室中燃焼ガス温度測定位置

ワンルームコントロール方式で燃焼管理はもちろん、設備の監視、運転、操作を行います。

クレーン操作室

プラットフォーム
 出入口扉はエアカーテンと連動し、投入扉はクレーン操作室からの指示によるインターロック装置付。

粗大ごみ処理設備
 投入
 ごみ計量機
 ダンピングボックス
 ごみ投入扉
 ごみピット

ごみ計量機
 ごみ計量機制御器

収集車で収集されたごみは、ごみ計量機で投入量が自動的に計量され記録及び記憶されます。

集塵機流入燃焼ガス温度測定位置

排ガス採取位置



鋼板製（コンクリート外筒型）で周囲環境に調和した美観を考慮しています。
 煙突



灰バンカ・固化物バンカ

焼却炉から発生した焼却灰及びダスト固化物を一時的に留後適宜搬出します。



排ガス監視盤
 煙突から排出される排ガスに含まれるSOx、NOx、Hclの濃度を表示します。